

**概要** 勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、だれもがいきいきと働けるよう支援を行う。

**総合評価**

**D**

労働学校の入学者数や勤労者情報システムへのアクセス件数を過去の実績と比較した結果による客観指標評価はCである。また、満足度調査は「どちらとも言えない」、「どちらかというと思わない」が多くD評価であったことから、総合評価をDとする。

**この施策の客観指標評価**

客観指標総合評価: **C**

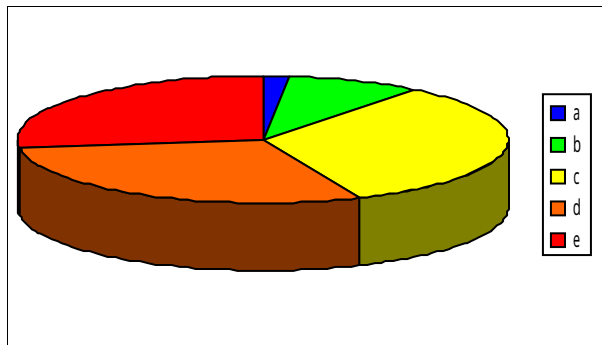
指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

評価

指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度	前年値	現在値	目標値	達成度	評価
市民満足度評価					D
(準)京都労働学校入学者数(人)	1684	1593			C
(準)勤労者情報システムアクセス件数(件)	17056	11871			B

**この施策に関する市民満足度評価**

労働についての情報が提供され、いきいきと働ける場を得ていると思う。



答a: そう思う	6	1.6%
答b: どちらかというと思う	34	9.0%
答c: どちらとも言えない	125	33.1%
答d: どちらかというと思わない	110	29.1%
答e: そう思わない	103	27.2%
<b>有効回答数</b>	<b>378</b>	
<b>満足度評価</b>		<b>D</b>

**<参考> この施策実現のための主な事業  
事業名**

- 労働学校運営
- 労働者金融対策(融資制度)
- 勤労者情報システム整備
- 労働団体助成